

ほうせん花 IV

記憶と継承

(作・演出) なか としお
(出演)

愛知・県民の手による平和を
願う演劇の会 (平演会)

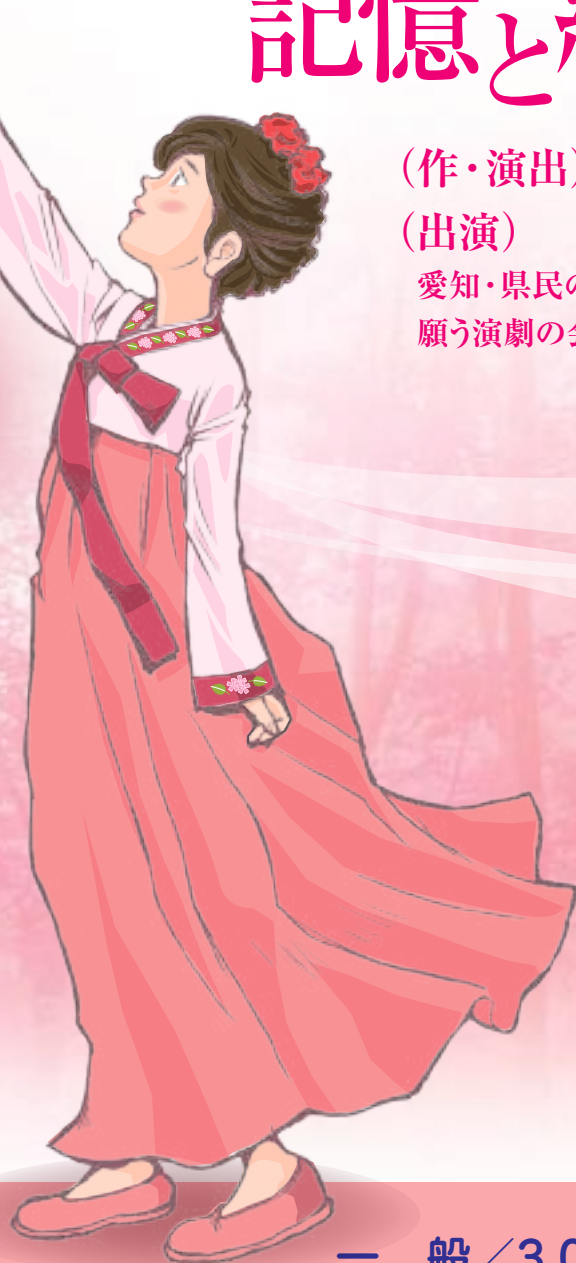
あの戦争中

三菱重工の名古屋工場に

連れてこられた少女らの物語

朝鮮女子勤労挺身隊員たちの

人生と裁判の記録



2025年 8月9日(土)

11:00～／15:00～ ※開場は各30分前

日暮里サニーホール

一般／3,000円 (前売)
3,500円 (当日)

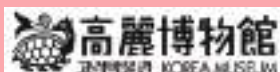
中高生・障がい者／1,000円
(時間指定・自由席)

※チケット半券持参で高麗博物館に
無料で入館できます (9/28まで)

主催

名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会 (支援する会)
愛知・県民の手による平和を願う演劇の会 (平演会)

共催



協力

いろそら！合唱団、一般社団法人ほうせんか、광주문화재단 光州文化財団

ほうせん花Ⅳ

記憶と継承

劇「ほうせん花」上演の歴史

- ①ほうせん花(初演)2003年8月(名古屋)
- ②ほうせん花Ⅱ 2022年9月(名古屋)
- ③ほうせん花Ⅲ 2024年2月(韓国光州)
- ④ほうせん花Ⅳ 2025年8月(東京)

〈名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊とは〉

1944年、朝鮮の小学校を卒業するかしないかの少女たちが「日本で働けば、お金がもらえ女学校に行ける」とだまされて、名古屋の工場で苛酷な労働をさせられた。55年後、元隊員達が日本政府と三菱重工に対し謝罪と補償を求めて名古屋地裁に提訴。第2審では、国と三菱による強制連行・強制労働を認めつつ、「日韓請求権協定」を理由に請求棄却。「支援する会」が金曜行動を開始、韓国光州「ハルモニと共にする市民の会」もできる中、ついに2018年、韓国最高裁が勝訴の判決。しかし、日本政府と三菱重工はこの後始末を韓国国民と企業に押付け、「第三者弁済」で解決を図ろうとしている。



交通のご案内

- JR・京成「日暮里」駅 南改札より 徒歩5分
- 日暮里・舎人ライナー「日暮里」駅より 徒歩5分

チケットの取り扱い

チケットは右のQRコードから電子チケットをお求め下さい。
又は、下記問い合わせ先にお申し込み下さい。
<https://peatix.com/event/4299868>

Peatix
ピーティックス



問い合わせ先



開館時間 12:00 ~ 17:00 休館日 月曜日・火曜日・年末・年始
TEL ☎ 03-5272-3510 FAX ☎ 03-3207-0533
E-mail ✉ kh@kouraihakubutsukan.org



←公演支援カンパは
こちらから(クラファン)